



<保健看護学科>(認定課程:養護教諭一種免許)

(1)各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	春学期	・養護に関する科目では、生命科学の歴史や現代の代表的な健康問題とその要因、健康に関する基本的概念や対象理解、健康問題解決のための(看護)理論を学び、養護活動全体を理解する基礎的な能力を育てる。また、人体の構造やしくみを学び、健康の維持増進と疾病を理解する基礎的な能力を育てる。 ・オリエンテーション等で教職課程の授業について知る。66条の6に定める科目の履修を開始する。
	秋学期	・養護に関する科目では、公衆衛生学等について学び、養護活動を理解する基礎的な能力を育てる。 ・ポランディア等教職につながる活動に積極的に取り組む。66条の6に定める科目を履修する。
2年次	春学期	・養護に関する科目では、学校保健と関連する行政および社会資源、健康に関するデータの活用、対象のアセスメントを学び、養護活動を展開する基礎的な能力を育てる。また、臨床心理、栄養治療学について学び、近年増加している子どもの問題を解決するための基礎的な能力を育てる。これらを通して、養護活動の実践を理解する。 ・教職概論などの教職についての基礎理論を学び、教職課程の心構えをつくる。66条の6に定める科目の履修を完了する。
	秋学期	・養護に関する科目では、学校保健学によって現実的な課題を理解する中で、子どもの正常な発育発達と疾病、健康問題を解決するためのプロセスについて学び、養護活動を実践する基礎的な能力を育てる。 ・教育原論などにより教育の意義・方法についての基礎理論を学ぶ。
3年次	春学期	・養護に関する科目では、公衆衛生看護、子どもの多様な疾患とその看護を学ぶとともに、養護教諭としての具体的な活動について学ぶことにより、時代のニーズに則した養護活動を実践する基礎的な能力を育てる。 ・教育課程論などで教育課程の編成や学生指導について学ぶ。
	秋学期	・養護に関する科目では、児童・青年期における医療機関での治療およびケアの実践を臨床実習を通して学び、養護活動を実践する発展的な能力を育てる。 ・道徳教育の方法を中心に指導の内容と方法についての理解を深め、教育実習の準備をする。
4年次	春学期	・養護に関する科目では、既習の知識と技術を統合し、養護活動を実践する発展的な能力を育てる。また、卒業研究では養護実践に関連する研究的視点を持つことにより専門的洞察力を育てる。 ・養護実習に臨み、学校現場の実践から学ぶ。
	秋学期	・養護に関する科目では、卒業研究を通して各分野の総仕上げを行う。 ・教職実践演習を通して、教職履修の総仕上げを行う。

(2)履修モデル

履修年次		具体的な科目名称						
		教職に関する科目			養護に関する科目	教科又は教職に関する科目	施行規則第66条の6に関する科目	その他教職課程に関連のある科目
年次	時期	科目区分	必要事項	科目名称				
1年次	春学期				生化学		健康科学	スタートアップセミナー
					解剖学		英語スキルⅠ	看護学概論
					生理学		情報スキル入門	生命科学入門
	秋学期				人間関係論演習			社会福祉学
					小児看護学Ⅰ			
					公衆衛生学		日本の憲法	
2年次	春学期	1	ABC	教職概論	保健医療福祉行政論Ⅰ		英語スキルⅢ	
		2	A	教育史	疫学・保健統計学Ⅰ		スポーツA	
					臨床心理学		スポーツC	
	秋学期				薬理治療学			
					免疫学			
					看護アセスメント実習			
3年次	春学期	2	A	教育原論	学校保健学		スポーツB	
		2	B	教育心理	公衆衛生看護学概論		英語スキルⅣ	
		3	D	教育方法論	精神看護学Ⅰ			
	秋学期				小児看護学Ⅱ			
					看護過程演習			
					教育課程総論	公衆衛生看護学支援論		
4年次	春学期	3	C	特別活動	養護活動論			
		4	AC	生徒指導(養護・栄養)	公衆衛生看護学活動展開論			
					小児看護学Ⅲ			
	秋学期	2	C	教育行政学	小児看護学臨床実習			
		3	B	道徳教育の方法	精神看護学臨床実習			
		4	B	学校教育相談				
集中	春学期	2	C	学校経営論				
	秋学期	6		教職実践演習(中・高)				
	集中	5		養護実習				